

KANAGAWA HOHYUH CLUB
神奈川県放友会
Newsletter



Vol. 8 No.4 .Out. 2015
 第 32 号

神奈川県放友会

〒231-0033 横浜市中区長者町4丁目9番地

ストーク伊勢佐木1番館 501 号

TEL 045 681 7573 FAX 045 681 7578

発行人 長谷川 武

発行日 2015年10月15日

神奈川県放友会の今後……展開

神奈川県放友会 副会長 草柳 伸彦

神奈川県放友会の今後の展開を考えてみます。今年春の総会に於いて、解散、新放友会発足と、慌しい日々の中、今後の方向と行動についてしっかりと骨格が構築されなければと考えます。我々執行部は、真剣に捉えなくてはなりません。企画立案、渉外案件、親睦関係、パワーある状態での全開対処が理想です。

今までの実績を踏み台に、さらに進めることを当面の目標にし、地道にコツコツがいいのではないかと考えます。また、会員以外の方は、今までの活動に対しどのように思われているのでしょうか。イメージはどうでしょうか。気になる所であり、大事な部分です。

新たな運営になり真価がまさに問われる状況になります。

日本診療放射線技師会、神奈川県放射線技師会、日本放射線技術学会、各地域放射線技師会、部門研究会、地域医療関係フォーラム、などなど会員は色々と多忙になっている状況は今も変わらないのです。各技師の放射線業務に対し、活躍場所、取り組み、医療に対しての貢献度と、違いはあるものの負担にならない選択をされていると思います。

専門性の強い分野の集団の中での、当会の存在感、方向性は、今後の展開で注目されるのではないでしょうか。

今までの実績あるニュースレター、書籍の発刊、各イベントとベースはあるので、展開方向の応用問題を進めて行かなければなりません。私が、以前のコラムに「品格」に関してのテーマで述べさせて頂きました。この内容をも踏まえ、ここからは、私の現状の思い、提案を述べさせて頂きます。

各施設で勤務されている現役放射線技師、OBの方々、会の趣旨に賛同され入会された他団体の方、メーカーの方、色々な会員のメンバー構成の放友会です。運営の主であるニュースレターは情報共有に関連したコラムは充実しており、時代に即した内容にて、素晴らしいと感じ

ます。会員向けの会誌であるため、会員には素晴らしい情報が提供されております。また、専門技師に特化した内容の専門書籍等の発行に関しては、まさに放射線技師にとって必要分野であり、みごとである。現状についてはこのままで申し分ないと思います。

今後の展開ですが、会員には他団体、賛助の方々もいますので、大きく捉えた内容の分野に目を向ける必要があるように感じます。たとえば、専門職医療団体である臨床検査、リハビリ関係、薬剤、看護関係等であります。

来年、診療報酬改定が行われますが、画像報酬のみならず、全体構造把握するために、詳細なる提供が出来ないのでしょうかについて、論議したいものです。また大学での教養学、とりわけ一般教養のレベル向上の分野の件についてです。世の中の流れ、なにが起こっているのか、何が問題か、質問されたら答えられるのかどうか、苦手なことに対して逃げていないか、今まで触れてこなかったことに向っていくことが大切だと考えます。環境、外交、生活、勿論、医療等の諸問題に関しても興味深い議論があってもいいのかなと……。

大きく捉えるとその先には、所謂、政治諸問題議論になるかと考えます。生活の一部になっている身近なことについては関心があることでも、政治関係と捉えると避けていることが残念でなりません。放射線に関係した技師の集まり会では、触れてはならない事項として考えられていたように思います。別物としての感覚をなんとしても変える必要があると考えます。政治団体関連（政党）と、議論討議に関することは別であります。今後の放友会は、専門分野の更なる発展と、いままで行えなかった分野の半歩で良いので、前進を目標に、幅広い人間に、幅広い語らいを多くの人たちと……の思いです。

長谷川会長の持論である……語り合ひましょう……まさにそこです。

小規模医療施設での診断参考レベル (DRL) 取り組み支援について

神奈川県放友会小規模医療施設 DRL 検討委員会

はじめに

最近新聞報道で、医学検査での患者の放射線を被曝最小限に抑える取り組みが大きく報道されています。同じ検査でも施設で差があり、CT検査で患者が被曝するX線の量は、同じ部位の検査でも医療施設によって10倍以上も差がある実態が日本診療放射線技師会の調査で分かりました。

医療被ばくの軽減に対する日本の取り組みは一筋縄ではいかず、長年の懸案となってきた経過があり、欧米に比べて遅れていると言われていました。

5年前に発足した「医療被ばく研究情報ネットワーク」(事務局・放医研)が初の診断参考レベル案をまとめ、関心を高めるため各施設の自主的検討参考値として報告しました。

対策を進めるには、医師と技師の連携が欠かせない。しかし、放射線専門医がいない施設では被曝リスクへの理解が難しいと思われまます。

放射線医学総合研究所の神田玲子博士は、「診断参考レベルの存在が知れ渡り、病院で『この検査の線量はどのくらいか』などと尋ねる患者が増えれば、医療現場も変わって行く。」と期待する発言をしていました。

医療被ばく研究情報ネットワーク(以下「J-RIME」)は、国内外の機関や専門家と協力して、医療被ばくに関する様々な研究情報を収集し、これらの情報をお互いに共有する組織として設立されました。

J-RIMEの目的は、放射線診療における被ばく線量・リスク評価など医療被ばくに関するデータを収集し、我が国の医療被ばくの実態把握を行うとともに、国際的な動向を踏まえて医療被ばくの適切な防護体制を国内に構築する点にあります。2015年現在、放射線医療及び防護関連学会・機関・大学・職能団体・医療施設・行政機関等からの参加や関連工業会の協力を得て、オールジャパンのネットワークとして機能しています。

- ・医療放射線防護連絡協議会
- ・日本医学物理学会
- ・日本医学放射線学会
- ・日本核医学会
- ・日本核医学技術学会
- ・日本歯科放射線学会
- ・日本小児放射線学会
- ・日本診療放射線技師会
- ・日本放射線影響学会
- ・日本放射線技術学会
- ・医療被ばく研究情報ネットワーク(J-RIME)

今回J-RIMEは、平成27年6月7日「最新の国内実態調査結果に基づく診断参考レベルの設定」を報告しました。参加団体が実施した実態調査の結果に基づいて、医師、診療放射線技師、医学物理士を始めとする様々な専門家が共に議論を行い、国際機関の専門家の助言を得て、日本で初めて「診断参考レベル」を策定し、本議論に参加した団体それぞれから承認を得て、報告書において公表しました。

今後は、医療現場における診断参考レベルの理解・普及・定着に向けた支援を進めるとともに、さらには対象モダリティの拡張、診断参考レベルの更新に向けた体制整備、国内制度への取り入れに向けた提言などを進めたいと考えているようです。

この診断参考レベル(以下DRL)の意義として最も強調されている点は、線量限度ではないということ、そしてすぐれた診療と劣った診療の境界ではないことです。線量限度は、超えてはならない線量値ですが、DRLは臨症的な必要性があれば超過してもよいとする考えです。また、職業被曝の線量限度とは異なり、DRLは個々の患者の被ばくを制限するものではありません。患者の体重や体格により、標準的患者よりも高い線量が必要とされる場合があるからです。

このDRLは、異常に高い線量を用いている施設を特定し、最適化のプロセスを推進するためのツールです。

目的

神奈川県放友会の目的の一つとして、地域住民に対して「放射線の安全・安心」の啓発活動、特に医療機関に対して「放射線安全管理」の支援を行い、医療と福祉の向上発展に寄与することを掲げています。

J-RIMEは診断参考レベルの理解・普及・定着に向けた活動を始めました。この新しい考え方を小規模医療施設にも理解して頂き、我々が支援し共同して取り組むことが可能であるかデータ解析の点から検討しました。

データの解析にはJ-RIMEでは簡易な対応策として「NDD法」を承認しており、撮影条件が提供して頂ければ実践可能です。従って、この方法を使用し、胸部撮影での入射表面線量・実効線量を推定、「診断参考レベル」設定の趣旨を踏まえた被ばく線量の最適化を共同で実践できるかを検討致しました。

方法

今回の検討企画に理解を示してくださった施設から、16件の胸部撮影の参考条件を提供して頂きました。

- (1) 装置 インバータ ・ 三相 ・ その他 (2) 管電圧 (3) 管電流

(4) 撮影時間 (5) mAs (6) 35×35cm (7) Al 濾過

提供データを、NDD(Numerical Dose Determination)法、公益社団法人茨城県診療放射線技師会より発表された X 線検査時の撮影パラメータから患者表面被曝線量を計算する方法を用いました。

結 果

神奈川県放友会では施設から 16 件のデータを得て胸部の入射表面線量と実効線量を NDD 法で算出した。

データ	装置	管電圧	管電流	時間	mAs	mmAl	処理	実効線量	入射表面線量
1	インバ	100	—	—	4.5	2.5	CR	0.0329	0.1796
2	インバ	110	—	—	7.0	2.5	CR	0.0665	0.3326
3	単相	130	100	0.030	(3.0)	1.5	自現	0.3235	1.6161
4	インバ	130	100	0.030	(3.0)	1.5	自現	0.0473	0.2364
5	インバ	112	—	—	3.2	(2.5)	自現	0.0322	0.1583
6	インバ	118	200	—	4.0	(2.5)	CR	0.0470	0.2215
7	インバ	110	200	0.032	(6.4)	(2.5)	CR	0.0608	0.3041
8	三相	120	160	—	8.0	(2.5)		0.0919	0.429
9	インバ	120	100	0.022	(2.2)	(2.5)		0.0265	0.1236
10	インバ	120	100	0.025	(2.5)	(2.5)		0.0301	0.1404
11	インバ	110	200	0.030	(6.0)	(2.5)		0.0570	0.2851
12	三相	98	160	—	5.0	(2.5)		0.0339	0.1902
13	三相	120	100	—	4.0	(2.5)		0.0459	0.2145
14	インバ	120	100	—	5.0	(2.5)		0.0602	0.2808
15	インバ	118	160	—	8.0	(2.5)		0.0940	0.443
16	インバ	120	100	0.027	(2.7)	(2.5)		0.0325	0.1516

* 照射野は大角 35×35、FFD は 200 c m

() は報告なしのデータである。

** 実効線量 mSv 入射表面線量 mGy

J-RIME が提案した診断参考レベル(DRL)は 0.30mGy

考 察

J-RIME が胸部撮影については 677 例をまとめ、診断参考レベル (DRL) 0.30 mGy が提案された診断参考レベルと比較しました。

施設から提供された 16 件の撮影参考条件を NDD 法で線量の推定を行った結果、入射表面線量は 0.15～1.61 の範囲にありました。

診断参考レベル (DRL) 0.30 mGy を超えた撮影条件は 5 件ありました。内訳は、

- (1) フォトタイマーを使用している施設で、作動mAs でなく設定mAs を報告していると考える 3 件。
- (2) 装置がインバータか単相なのかかわからず、提供されたのが 1 件。
- (3) 撮影条件を再検討する必要があるのが 1 件。

実効線量は 0.0265～0.0940 で、診断参考レベルを超えていた施設の実効線量を除くと 0.0265～0.0602 でした。

各放射線診療の診断参考レベルと被ばく線量

検査の種類	被ばく線量 (およその値)		診断参考レベル		
	線量	線量の種類	IAEA ガイダンスレベル	日本放射線技師会 ガイドライン	線量の種類
胸部 X 線撮影	0.06mSv	実効線量	0.4mGy	0.3mGy	入射表面線量

(赤羽 Innervision 25.46-49 2010 より)

まとめ

- ・胸部撮影の参考条件から NDD 法で線量の推定を行った。施設からのデータを提供頂ければ診断参考レベル (入射表面線量)、実効線量 (被ばく線量) を算出でき、被ばく線量最適化を検討できると考える。
- ・病院規模で導入している「診断参考レベル」を小規模医療施設 (クリニック等) での医療被ばくの最適化を考える契機にさせていただき、被ばく線量最適化の検討を希望する施設に対しデータの提供があれば、NDD 法による「診断参考レベル検討報告書」を、「提供する企画」を小規模医療施設 (クリニック等) と共同で実践したいと考える。

函館見学と競馬場観戦&参戦ツアーに参加して

福田 利雄 (会員番号11)

羽田空港を飛び立つ時は小雨ぱらつくどんよりとした天気であったが、函館は陽射しが強い青天であった。神放友会恒例の競馬観戦、今回は北海道函館見学を盛り込んだ「2015.6.19~21 2泊3日」の親睦企画である。湯の川温泉のホテルに荷を置き、予定されていた函館放射線技師会への表敬訪問と五稜郭見学に出かけた。



「函館市電」函館の街を走る路面電車を移動手段として利用した。車内で楽しいひと時を経験した。それは乗車していた若者のグループに声をかけた事から始まる。男女5~6人のグループであったが公立はこだて未来大学の学生さん達であり合宿に向かう途中であった。出身地は？ 将来の目標は？ 楽しい時間を持ったのである。



訪問先は北海道で2番目に大きい組織である函館放射線技師会会長小林さん、勤務先である函館五稜郭病院である。小林会長は会議室にてスライド使用し北海道放射線技師会、函館放射線技師会が抱える問題、地域医療、技師会活動等について話され、当放友会からは長谷川会長、橋口、早瀬両副会長が訪問目的等話され交流に務めた。



表敬訪問を終え、五稜郭タワーと五稜郭公園を見学した。

湯の川温泉の湯に浸り楽しい夕食後、世界三大夜景の一つとして世界に広く知られている『函館夜景見学』に出かけた。ホテル前から出発する定期観光バスを利用した。



『100万ドルの夜景』にふさわしい素晴らしい光景であった。下りのロープウェイからの眺めも良かった。

2日目快晴。競馬大好きな3名の男性会員は函館競馬場へ出かけ、カップル3組6名は函館市内見学に出かけた。「函館市電」一日乗車券をフルに活用した。



函館朝市 JR 函館駅すぐそば約1万坪のエリアに北海道名産かに・海鮮食堂・青果・・・『食』のワンダーランド朝市がある。一日平均4,000~5,000人の来客がある有名スポットである。海鮮丼、いかそうめんを堪能、海産物のお土産など、つい多く買ってしまおう雰囲気があった。



函館八幡坂、函館には海を望む坂、石畳の坂が多い。テレビCMでロケ地として採用されるなど、景色の美しさで有名な坂である。真っ直ぐに函館湾に伸びた270mの1本道は壮観であった。下からの眺めも素晴らしい。

函館らしいレトロな建物、洋風建築、名所スポット、見どころいっぱいの函館元町エリアを散策した。元イギリス領事館、ペリー公園等異国情緒漂う町である。



函館ハリストス正教会、ハリストスとはキリストの事、ロシア風ビザンチン様式の優雅な建物であった。



旧函館区公会堂、ブルーとイエローの色調の美しい建物。明治 43 年、当時の洋風建築の粋を集めて造られたコロニアル・スタイルの木造建築で、国の重要文化財である。ボランティア活動中の函館女子大の学生さんと出会った。その活動の内容は記念写真を撮ってくれるものであった。



新島襄のブロンズ像、同志社大学創設者である新島襄が国禁を犯してアメリカへの密航を企てたのが函館の港、この岸壁であったようだ。この函館ベイエリア地区にも観光名所スポットが数多くあり楽しむ事ができた。

3日目快晴。函館競馬観戦の日である。昨夜、宿泊ホテルでお酒を酌み交わしながら馬券の買い方、攻略法などについて勉強したのであるが、その成果は如何に・・・。



函館競馬場、日本で最も歴史の長い競馬場。2010年夏にリニューアルオープンされた。函館空港に近く、飛行機の大きな影が爆音を轟かせ何度もレース場を走った。競馬場は海に近く海風のせいか日陰はかなり寒かった。



函館競馬場のレースは、東京中央競馬場と違い右まわりに走る・・・何か理由があるのかも・・・馬場を疾走する競走馬の姿、何度見ても美しい。



函館第 11R は函館スプリント S (GIII)、タレント DAIGO さんのトークショーとレース予想に会場は大いに沸いた。DAIGO さん流石カッコいい！

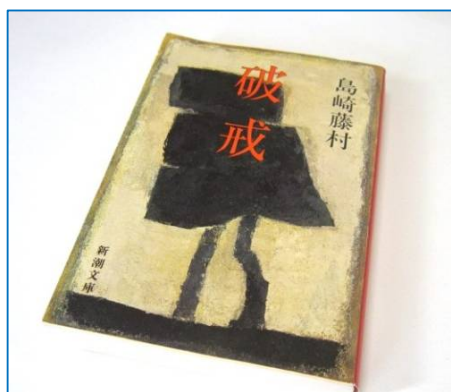


第 11R GIII 優勝馬
ティーハーフ
馬券は大荒れ
三連単高配当
9500 倍！

函館空港 19:35 発 JAL588 便で羽田空港へ・・・函館見学、競馬観戦、実に楽しい 3 日間の旅であった。

島崎 藤村著書「破戒」を読んで

小松崎 真一（会員番号 18）



「破戒」新潮文庫

一昨年、本屋で「破戒」が販売されていた。購入しようと思ったのは特別に展示されていた読者の読後感が、PR キャッチフレーズとして目についたからだ。藤村の多くの著書の中から、この本が新刊本として売られていたのには驚いた。初版は昭和 29 年であり、平成 25 年に 139 刷を重ねていた。平成 26 年暮れに読み終わったので、読後感を書いてみた。

◇はじめに

主人公が父親から身分を「隠せ」と、戒められていたのだ。これがキーワードとして物語になっている。明治時代の差別問題を、克明に表現しているのが解った。当時の文学思想が背景にあったのだと思う。出版社は新潮社だ、文学に関する本を多数出版している。藤村関連は新潮日本文学・新潮日本文学アルバム・新潮文庫本がある。

藤村の著書を読むのは初めてだ。高齢になって現役を退いたため時間が出来たので、読む気になった。当時を振り返ると、書かれた時代の生活を知ることができた。

明治 29 年小諸市に私塾小諸義塾が開かれた。明治 32 年、藤村が 27 歳の時に小諸義塾に赴任し、教師として教鞭をとった。33 歳の時、小諸義塾を辞め東京へ戻った。「破戒」は藤村 34 歳の時に書かれた。

当時の穢多^{えた}や新平民が差別されていたことを教師の立場から見た目で、小説化したのであろう。（穢多＝けがれ多い人々）

◇あらすじ

主人公の瀬川丑松は、穢多であった。父親から「隠せ」一戒めはこの一語で尽きた。「たとえいかなる目を見ようと、いかなる人にめぐりあおうと決してそれとはうちあけるな、一旦の憤怒悲哀にこの戒めを忘れたら、その時こそ社会から

捨てられたものと思え。」と教えられたのだ。丑松が少年の時であった。物語はここから始まった。教師として生活していた丑松は、この教えを守って暮らしていた。そして月日が流れた。突然、思いがけない同志の死に遭遇する。これが切掛けで戒めを破って、穢多であることを公表してしまう。その後、アメリカのテキサスへ旅立ってゆく。

◇差別問題

当時の社会問題を、フィクションとして書いている。

この時代が抱えていた問題は、人が身分によって差別されていることだった。穢多・種族・新平民・調里・素性等の差別問題を物語化することによって、社会に訴えようとしたのではないかと思う。

◇小諸市（文章、地図は「長野県の歴史散歩」長野県歴史教育研究会発行による）

破戒のモデルになったのは長野県小諸市だ。藤村が暮らした 7 年間の足跡が、史跡として多数残っている。

小諸城址懐古園は、元小諸城があった所である。小諸城は、17 世紀初めに小諸藩初代藩主仙石秀久が完成させた。城内には当時の建物は現存していない。詩碑「千曲川旅情のうた」、「藤村記念館」があり、懐古園の裏手には小諸市立郷土博物館、小山敬三美術館がある。

その他に、旧小諸宿本陣跡、藤村が住んだ藤村旧栖地の碑、小諸義塾記念館、水明楼、高浜虚子記念館などがある。



小諸駅周辺の史跡

◇結び

藤村の著書は、今後も読んでいきたいと思っています。（島崎 藤村との関わりについては、ニューズレターに書き、大磯町藤村邸へのイベントで語ったので、ここでは省きます。）

函館放射線技師会表敬訪問 御礼文

函館放射線技師会

五稜郭病院医療部放射線科長 小林 功一 様

暑中お見舞い申し上げます。

去る 6 月 19 日、勤務の多忙の中を「神奈川放友会」が表敬訪問させて頂き、函館放射線技師会会長小林功一放射線科長にご挨拶できましたこと、大変光栄に存じました。ありがとうございました。

この度はお陰様で、神奈川県放射線技師会の外郭団体であるシルバー組の「神奈川放友会」が、「函館観光・競馬観戦と函館放射線技師会表敬訪問」と銘打って、函館を訪ねる機会を得ました。我々は勝手ながら、当地の放射線技師会活動やシルバー技師の情報を得るために函館放射線技師会を訪問させて頂きましたが、丁寧な歓待を受けてご挨拶が出来たことに感謝しております。

短い時間ではありましたが、神奈川放友会の紹介と函館放射線技師会との交流が出来たことは大いに意義あることと認識し、今後の活動に活かして行こうと思っておりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

尚、神奈川放友会は、「放射線の安全・安心への啓発」社会活動をテーマとして、社会貢献への活動を行っているつもりですので、ご理解とご支援を頂けたら幸いです。

尚、最新号「神奈川放友会 Newsletter No.31」を同封させて頂きましたので、ご一読頂き、神奈川放友会の活動存在をご理解頂きますと共に、ご意見やご支援が頂けたら幸いです。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。 平成 27 年 7 月 5 日 神奈川放友会 会長 長谷川 武



神奈川県放射線友の会（略称 神奈川放友会）ホームページ開設

今回、ホームページを立ち上げるにあたって、「神奈川放友会」という名称で掲載をしようとしたところ、すでに同名で運用している団体「神奈川放友会」（放送大学神奈川学習センターに学び、同じ志を持つ学生同士が集い、互いに励ましあい、共に楽しみながら豊かで実りある学生生活を送ろうというサークル）があることを知りました。また同時に、放送大学「神奈川放友会」の方が検索順位が高いことも分かりました。

したがって、我々が「神奈川放友会」と検索をかけてもなかなか検索できません。仮に、検索順位を高めた場合、すでに「神奈川放友会」の名称で掲載し運用している放送大学「神奈川放友会」側から抗議が来る心配があります。よって、ホームページに掲載する名称を、別途検討しなければなりません。

この件について理事会で論議した結果、ホームページ掲載については、一時的に「神奈川県放射線友の会（略称、神奈川放友会）」とすることを決めました。但し、引き続き理事会にて検討し総会に諮る予定です。混乱解消の策としてご理解ください。

皆さん、一度開いてみてください。 [URL:http://square.umin.ac.jp/kanagawa-hohyuh](http://square.umin.ac.jp/kanagawa-hohyuh)

秋恒例の散策 企画

「大磯、文学と政治・財界の歴史の町散策」そして放談会で盛り上がり！！

日 時 10月31日（土） 9:00 ~ 16:00 頃

集合場所 大磯駅（JR東海道線） 改札 9:00

散 策 文学と政治・財界の歴史の大磯町散策

放 談 会 テー マ : 過去・現在・未来を語る

会 費 （昼食代・ガイド代を含む） 4,000 円

申 込 先 神奈川放友会 橋口邦紘 Tel.045-783-9454 まで

先着 15 名まで

締切 10月24日（土）

緊急連絡先（小松崎）

09061733362

みんなの広場

■ 窪田 宗雄 前県技師会長死去

去る7月31日、窪田宗雄前公益社団法人神奈川県放射線技師会長が急逝されました。窪田氏は、平成20年度より3期6年間会長職を務められました。

ここに、謹んで哀悼の意を表するとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

■ 携帯の電波「医療機器誤作動の恐れ低い」

初の指針案

総務省は23日、携帯電話の電波が心臓ペースメーカーなどに影響を及ぼす恐れは非常に低い、と初めて指摘する指針案を公表した。「15センチ以上離す」という距離基準は維持するが、基準が患者の不安を生んでいるとの指摘を受け、それを和らげる表現を盛り込んだ。

総務省の検討会が発表した。意見公募を経て、8月ごろにも決定する予定だ。

総務省は、これまでの調査で、ペースメーカーを携帯電話に近づけると誤作動などの影響があったため、現行の指針では15センチ以上離すべきだとしている。今回はこれに加えて、人工心臓を動かす装置などの医療機器の影響を調査した。一部の機器では、携帯が3センチまで近づくと誤作動などがあつたとし、これまで同様、15センチ以上離すことを促す指針案をまとめた。

だが、検討過程で、一部の識者から調査について、携帯の電波を断続的に最大出力で、医療機器の感度も最大にした条件で行われており「現実では起こりえない」との意見があつた。東京女子医科大学の庄田守男教授は「日常生活で携帯電波が医療機器の不具合を起こした例は報告がない。患者の不安を生むだけで弊害の方が大きい」と指摘する。

指摘を受け、総務省も指針案に初めて「影響が発生するとは限らない」との文言を盛り込んだ。

朝日新聞デジタル6月24日(水) 配信

■ 作業員の放射性セシウム 137 の変化

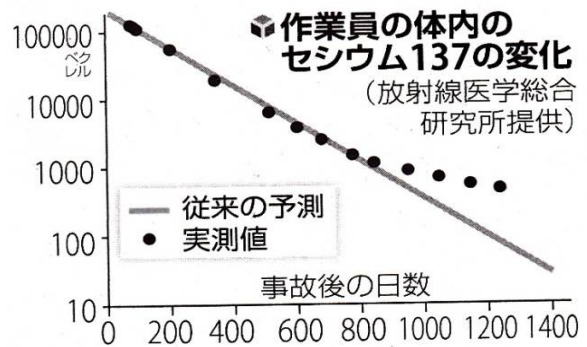
体外への排出が遅いという検査結果

福島第一原子力発電所の事故対応にあつた、東電作業員7人の体内に吸い込んだ放射性セシウム137の変化について、体外への排泄検査を追跡調査した結果によると、従来の予測より遅いという結果が出た。と放射線医学総合研究所の谷幸太郎研究員らが発表した。

原子炉の中央制御室で監視業務などにあたり、被ばく線量が特に多かった作業員で、年に数回、4年以上にわたり検査を受けて体内のセシウム量を測ってきた。

作業員のセシウム量は、事故後、約2年間は、「肺から血液へ溶解込み、尿などを通じた排泄により、70~100日ごとに半減していく」という、予測通りに減少してい

た。しかし、2013年の半ば頃から減り方が鈍くなった(図を参照)という。



予測は、国際放射線防護委員会(ICRP)の勧告に基づき、セシウムを水に溶けやすいタイプを前提で計算するが、「水に溶けにくいセシウムが混じっていると考えれば、肺から血液への移行が遅くなるので、今回のデータとつじつまが合う」と谷研究員は説明されている。

7人の被ばく量は約679mSvであつたが、大半は極めて短期間で減少する放射性ヨウ素の吸入によるもので、セシウムの体内残存期間が少し長引いても、作業員の健康に影響は大きく変わることはない見通しだという。

「放射性物質のこの種のデータは限られているので、体内でのセシウムの動き方について、再検討が必要になるかもしれない」と弘前大学被ばく医療総合研究所の床次真司教授は指摘している。

読売新聞夕刊 8月10日配信

■ レントゲン撮影事故

技師の女を書類送検 群馬県警

群馬県沼田市で今年5月、レントゲン撮影車で胃の検査を受けていた女性が撮影台と内壁の間に頭を挟まれて死亡した事故で、県警は28日、検査を担当した診療放射線技師の女(55)を業務上過失致死容疑で前橋地検に書類送検した。死亡した女性はブラジル国籍のアルバイト、マスコ・ロザリナ・ケイコさん(当時58歳)。

発表によると、技師は5月8日、マスコさんの勤務先の健康診断で胃のレントゲン検査を担当。撮影台に落下防止の「肩当て」がついていないのにモニターでの十分な監視などを怠り、台を操作してマスコさんの頭を台と内壁の間に挟ませ、動脈損傷による出血性ショックで死亡させた疑い。

読売新聞 9月28日(月)夕刊

編集後記 ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

放友会が専門分野の更なる発展と、今まで行えなかった分野への半歩でもの前進を目標に活動します。

皆さんのお考え、情報をお寄せください。

尚、現在撮影している胸部条件が診断参考レベル以下であるか関心のある方はご連絡ください。計算いたします。